

トキ 野生復帰にむけて

54



自然保護官 バトンタッチ

岩浅さんから

後任の笹渕さんへ



初めまして。4月に環境省佐渡自然保護官事務所へ赴任してきました笹渕紘平と申します。

佐渡に来る前には沖繩の那覇自然環境事務所というところにいました。沖繩では、サンゴ礁を保全しながら観光資源として持続的に活用していく、エコツーリズムのルールを地域の方々と一緒になってつくる仕事をしていました。

佐渡ではトキの野生復帰の仕事を担当させていただきます。サンゴからトキへと、仕事内容が大きく変わるように思いますが、地域の方々と一緒に進めていくという点では、沖繩

での経験を十分に生かせると考えています。

トキの野生復帰は、トキが野外に定着することだけではなく、トキをきっかけとして人と生き物が共生する社会をつくる大きな目標です。それは決して環境省だけで実現できることではなく、皆さんのご協力が欠かせません。前任の岩浅が築き上げてきた皆さんとの協力関係を受け継ぎ、誠心誠意トキの野生復帰、また佐渡の持続的な発展のために力を尽くしたいと思えます。

これからどうぞよろしくお願いいたします。



佐渡トキファンクラブ

<http://toki-sado.jp/fanclub/>

佐渡トキファンクラブに入ろう!

- ・毎月1回、トキの最新情報やイベント案内、ボランティア募集、プレゼント企画などのお知らせメールが届きます。
- ・人数限定のイベントなどで、ファンクラブ会員限定やファンクラブ会員優先の企画があります。



世界遺産登録に向けて

佐渡市歴史的建造物
造物悉皆調査③

相川地区
その1

○瑞仙寺(相川中寺町)

寛永元年

(1624)開

基の日蓮宗寺院で、大山師味方但馬家次が父家重の菩提のために建てたと伝えられています。味方家には徳川家康から拝領した衣服・茶碗・扇子や、鉾山に関連する資料等が代々受け継がれており、拝領品の一部は長らく瑞仙寺に保管されていましたが、平成16年11月に佐渡市へ寄託されました。



これまで、元禄期(1688)1703)の仁王門が最も古い建物とされてきましたが、今回の調査によって、本堂が1600年代中頃まで遡ることが判明しました。また、仁王門をくぐってすぐ右手にある日親堂は、明和4年(1767)焼失、安永3年(1774)再建と記録にあり、1700年代後半の作風を今に伝える貴重な建物です。

○相運寺(相川中寺町)

真言宗寺院で、開基年代は不明ですが、かつては江戸時代初期に最盛期をむかえた鉾山集落上相川にあり、慶長12年(1607)に現在の地に移ったといわれています。当初は地藏寺と称してお

り、慶安年間(1648)51)にいったんは廃寺となりましたが復興し、正徳6年(1716)に相運寺と改められました。境内南側の高台にある大師堂の周りには、地藏寺の名残である四国八十八観音の石仏が並んでいます。



本堂は享保7年(1722)建立と伝えられていましたが、1600年代中期に遡る装飾が施されており、慶安年間直後の復興当時の建物であると推定されます。また、山門・庫裡・経蔵・大師堂は1800年代前期〜中期の建築で、境内には一体感のある景観が広がっています。

◆市役所 世界遺産推進課

☎63・5136

おわびと訂正

市報さど5月号に掲載しました、「世界文化遺産登録に向けて1佐渡市歴史的建造物悉皆調査②(佐和田地区)」について誤りがありました。上段「本田寺」の3行目「応永2年(1468)に現在の地に移った」は「江戸時代始め頃」の間違いです。おわびして訂正します。

